

障教部だより



2017年2月9日（木）

発行 北広島市立東部小学校 吹浦美香

まとめの時期になりました。

部員のみなさん、今年度もお疲れ様でした。日々の指導に加え、石教研の研修会への積極的な参加やレポート作成など、自主的、主体的に活動して下さったおかげで、実りの多い1年となりました。これからの、障教部の全大会のもち方を考えていくことも必要になってきます。

今までと同じような感覚で事務局運営をしていくことは、難しいと強く感じました。

少しずつでも、部員が活動しやすい方法を、みんなで考えていくことが大切になってくると思います。

1年間御協力ありがとうございました。

合理的配慮の定義に含まれる

ニュアンスとしての

「アコモデーション」と

「モディフィケーション」

特教センターの木村所長がある講演で、インクルーシブ教育システムについて、「合理的配慮」の定義に言及されました。

その中で「アコモデーション」と「モディフィケーション」のニュアンスという言葉が使われました。私も初めて聞いた言葉ですが、皆さんはご存知でしたか？

「アコモデーション」のニュアンスは、「通常と同じことをする。同じ目標、同じ内容を一緒にする。又は一緒にやるときに活動や学習に取り組めるように方法や環境を工夫すること、ねらいは同じ」。

「モディフィケーション」のニュアンスは、「例えば、知的障がいのある子どもたちのために、同じねらい、同じ内容といっても無理が生じるので、この内容に変更を加えていいですよ。目標を変えたり、課題を優しくしたり、単純化したり、減らしたりすること」。

合理的配慮の中には、上記の二つが含まれていると言います。

これから、耳にすることがあるかも知れませんが、たくさんの横文字が、教育現場に当たり前のように入場し使われていきます。その意味を知り、意図を知り、理解して使えるようになるには、時間がかかりそうですね。

平成30年度 道特連全道大会 開催予定

既にお知らせしてありますが、再来年度は、知的的全道大会が石狩で開催されます。これは、知的学級がある全ての学校が対象になりますので、ご承知おき下さい。

知的部門だけではなく、学校としての協力が不可欠な内容となるでしょう。授業公開も予定されます。石狩地区だけではなく、石教研としても、協力していくべきであると考えています。

新年度の役員体制について

来年度事務局の役員選考については、4月のスタート交流会で提案し、各地区で検討して頂き、二次研究協議会の場で了承された輪番制で選出されます。

地区推進委員は役員選考委員も兼ねておりますので、各地区での候補者選考にあたって頂きました。

すでに、石狩・当別・新篠津地区からは、研究員、北広島地区からは事務局次長を選出して頂きました。ありがとうございました。

現在、千歳地区から部長候補の選出にあたって頂いております。石教研の在り方を理解したうえで是非引き受けて頂きたいと思っております。

よろしくお願ひします。

来年度	中心サークル：恵庭市
部長	：千歳地区
副部長	：江別地区（渡部先生）
事務局長	：恵庭地区（林先生）
事務局次長	：北広島地区
研究員	：石狩・当別・新篠津地区